

マスターフロー[®] 648CP

MASTERFLOW[®] 648CP

高性能樹脂グラウト材

マスターフロー 648CPは、エポキシ樹脂をベースにした高性能な樹脂グラウト材です。

樹脂グラウト材としての長年にわたる改良により、常に先進性を備えたマスターフロー 648CPは、プラント建設現場や工場などにおける機械類の新設グラウト工事、あるいは改修工事に多くの施工実績があります。

特長

マスターフロー 648CPは機械設備・構造物などのグラウト材として、樹脂ならではの優れた性能を発揮します。

1. 流動性が優れているので間隙を完全に充填でき、施工も容易です。
2. 鋼材・コンクリートに優れた接着性を示すため、構造物と一体化し、応力の伝達、振動減衰効果を発揮します。
3. 短時間で高強度が得られ、繰り返し荷重に対する抵抗性も大きく、長期にわたって安定した性能を発揮します。
4. 耐油性、耐薬品性に優れています。

用途

- 各種産業用機械設備類のベースグラウト
- 構造物の間隙充填グラウト
- その他

使用方法

1. マスターフロー 648CPは、規定量のA材(主剤)・B材(硬化剤)およびC材(骨材)がセットになっており、以下の順序で混合してください。
2. 混合は、まずA材(主剤)の入ったペール缶にB材(硬化剤)を入れ、ハンドミキサーで十分に混合した後、C材(骨材)を入れたモルタルミキサーに投入し、樹脂部(A材+B材)と骨材(C材)が均一になるまで混合してください。なお、ご不明な点は弊社までご相談ください。
3. 各材は所定の配合にセットされていますので、やむを得ず小分けして用いる場合でも、配合比率は変えないでください。

仕様

| 1セット当りの構成重量 | | | 1セット当りの 練上がり量 | 1m ³ 当りの 使用量 | 最大打設厚 |
|-------------|---------|----------|------------------|----------------------------|-------|
| A材(主剤) | B材(硬化剤) | C材(骨材) | | | |
| 10.5kg×1 | 3.5kg×1 | 22.8kg×4 | 55ℓ | 18.2セット | 150mm |

物性試験結果例

| 試験項目 | | 測定値 | 試験方法 |
|-----------------------------------|---------------------------------------|------|-------------------|
| 圧縮強度 | (N/mm ²) | 99.0 | ASTM C-579 |
| 曲げ強度 | (N/mm ²) | 28.4 | ASTM C-580-74 |
| 引張接着強度 | (N/mm ²) | 11.3 | ASTM C-321 |
| せん断付着強度 | (N/mm ²) | 18.6 | ASTM D-1002 |
| 引張強度 | (N/mm ²) | 10.3 | ASTM C-190 |
| 弾性係数 | (×10 ⁴ N/mm ²) | 1.24 | ASTM C-580-74 |
| 線膨張係数 | (×10 ⁻⁵ /°C) | 3.3 | ASTM C-531 |
| 密度 | (g/cm ³) | 2.13 | ASTM C-905 |
| 引火点 | (°C) | A材 | ペンスキン・マーティン法による |
| | | B材 | |
| 可使時間 | (分) | 10°C | 練り混ぜ後からゲル化迄の時間を示す |
| | | 20°C | |
| | | 30°C | |
| 圧縮強度が30N/mm ² に至るまでの時間 | (時) | 10°C | |
| | | 20°C | |
| | | 30°C | |

備考) 1. 強度試験用供試体の養生温度: 25°C 2. 強度試験材齢: 7日

使用及び取扱上の注意事項

1. マスターフロー 648CPはプレミックスタイプですので、現場で加えるものは一切ありません。水、砂、砂利、溶剤等は混合しないでください。
2. セット単位で十分混合してからご使用ください。
3. グラウトの一回の打設厚は、最大打設厚を超えない範囲とし、これを超える場合は数回に分けて打設してください。打設厚が厚過ぎるとクラックが発生する恐れがあります。
4. 本品のA材(主剤)とB材(硬化剤)は危険物第四類第三石油類に属します。保管場所及び火気には十分注意してください。またC材は吸湿性を有する粉末品ですので、セメントと同様に保管してください。
5. 各材共、破損または一度開封して放置された商品は使用しないでください。
6. 取り扱いに当たっては防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
7. 使用の際、目や皮膚に対して刺激性があり、粘膜に炎症を起こすことがあります。多量に蒸気を吸入すると炎症を起こすことがありますので、打設箇所は換気を十分に行ってください。
8. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
9. 皮膚に付着した場合は、速やかに水と石鹼で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
10. 飲み込んだ場合には、多量の水を飲み込ませ吐かせた後、専門医の診察を受けてください。
11. 作業中に蒸気を多量に吸引した場合には、速やかに新鮮な空気のある場所に移し、専門医の診察を受けてください。

包装形態

- A材(主剤): 10.5kg/缶 ● B材(硬化剤): 3.5kg/ポリボトル ● C材(骨材): 22.8kg × 4袋

※本商品についてのお問い合わせは、本社建材営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

BASF ポズリス株式会社

本社 東京都港区六本木6丁目10番1号 混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980
六本木ヒルズ森タワー 21階 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
(社本金沢事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

www.pozzolite.basf.co.jp

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

